

陳 情 文 書 表

(令和6年5月21日)

受理番号・受理年月日及び件名	陳情第85号(6.5.10) ひょうによる農業被害に対して支援を求める陳情
陳情の要旨	1. 相談窓口を設置し罹災証明の発行支援、災害ごみの廃棄方法など情報提供の周知徹底をおこなうこと 2. 被害実態の全容を把握すること 3. 農作物の損失、ビニールハウスなどの農業施設、農機具を破損した被害農家に見舞金支給など、支援をおこなうこと
陳情者の住所及び氏名	神戸市西区 大西 昇
送付委員会	経済港湾委員会

神戸市議会議長 様

2024年5月10日

陳情者

住所 神戸市西区

氏名 大西 昇



## 雹による農業被害に対して支援を求める陳情

委員の皆様には、平素から神戸の農業振興にご尽力いただいていることに感謝申し上げます。

私は、神戸市西区岩岡町で家族と従業員3人でトマト、イチゴのハウス栽培、米づくりを行う専業農家です。2024年4月16日午後8時過ぎに降った雹により神戸市西区では主に岩岡、神出、平野、押部谷地域で農業被害が発生しました。私も農業経営の危機に直面しており、その実態を報告させていただきます。神戸市の農業人口は社会的要因だけでなく高齢化と担い手不足で減り続け、離農者も後を絶たず耕作放棄地が増え続け深刻な事態となっています。私は、農業衰退を放置出来ず耕作放棄地を借りて耕し新規就農を支援し農業を次世代へ繋ぎたいと20代の従業員3人も正規雇用しています。県の農業経営士に認定され稲作の他にビニールハウス6棟でトマト、6棟でいちごを栽培しています。この度の雹でビニールハウス全てに穴が空きました。トマトは天井の穴からの雨水の影響で土壌を含む葉や茎、トマトに菌が付着し病気が広がり収穫は半減します。いちごは水に弱いので応急措置の必要がありビニールシートを購入し覆いをしてハウスの端へと水を落としているのですが湿度が高くなり24時間ファンを回していますが、病気が発生し始めています。

農家は、いつでも自然災害への備えをしておく事は充分理解していますが、JAの組合員ではありませんが、肥料や資材、燃料が高騰する厳しい状況の中、共済がすすめる保険は掛け捨てでリスクが大きく「加入したくても加入出来ない」のが実態です。

神戸の生産農家を守る支援が急がれている事にご理解を頂きますよう宜しくお願い致します。

### 〈陳情項目〉

- ・相談窓口を設置し罹災証明の発行支援、災害ごみの廃棄方法など情報提供の周知徹底をおこなうこと
- ・被害実態の全容を把握すること
- ・農作物の損失、ビニールハウスなどの農業施設、農機具を破損した被害農家に見舞金支給など、支援をおこなうこと

以上